

1 競技用品関係

①FIS 公認アルペン競技におけるエアバックプロテクター（3.5.2.4）及び耐切創性アンダーウェア（3.5.3.4）の着用義務について
別紙、令和7年8月8日付けの通知参照。

②シンパッドについて（3.5.4）

ブーツ内に装着するすね当て（シンパッド）の使用について、下記のような製品をブーツ内で着用することにより、より力がブーツに伝わりやすいということで一部の競技者が使用していたようですが、ケガなどのリスクが高まることで禁止となりました。



3.5.4 Shin Pads

No additional rigid parts are allowed to be worn as shin pads inside the boot. To treat medical issues, additional protection pads, as soft padding can be approved by FIS. Those pads must be made of soft material (e.g. gel, foam) and be flexible in all directions. Additionally, they cannot have a preformed, curved shape adapted to the leg and their size must not exceed the height and width of the ski boot tongue.

3.5.4 シンパッド

ブーツの内側にシンパッドとして追加の硬質部品を装着することは認められません。医学的問題への対応として、ソフトパッドなどの追加の保護パッドはFISの承認を受けることができます。これらのパッドは、柔らかい素材（ゲル、フォームなど）で作られ、あらゆる方向に柔軟である必要があります。また、脚に合わせて予め成形された湾曲形状であってはならず、そのサイズはスキーブーツのタンの高さを超えてはなりません。

2 【全種目共通】ICR614. 2. 3 の改正 競技者が停止した後の継続禁止について

<p>614.2.3 Interdiction to Continue after a competitor stops</p> <p>If <u>a competitor's skis</u> come to a complete stop (e.g. after a fall), they must no longer continue through previous or further gates.</p> <p><u>If a competitor continues without their skis coming to a complete stop, they must not interfere with the run of the next competitor or be passed by the next competitor.</u></p>	<p>614. 2. 3 競技者が停止した後に継続することの禁止</p> <p>もし競技者の<u>スキー</u>が完全に停止した場合 <u>(例：転倒後)</u>、その競技者は、前の旗門やその後の旗門を通過してはならない。</p> <p><u>もし競技者がスキーを完全に停止させることなく続ける場合は、次の競技者の滑走を妨害したり、次の競技者に追い抜かれたりしてはならない。</u></p>
--	---

今回の、『停止』に関わるルール改正について、FIS では新たに青文字で示す文言等を追加しました。今までは、「競技者が完全に停止した場合」という、少し曖昧な表現でしたが『スキーが完全に停止した場合』と完全停止に関する見解がハッキリ示されたと言えます。

今までは、競技者の身体が動いていれば、という風に受け取れたものが、身体は動いていたとしてもスキーが完全に停止した場合は継続できないことが明確になりました。

●この改正を受け、国内で開催される全ての FIS 及び SAJ 公認大会の全種目において、競技者のスキーが完全に停止した場合は、競技を継続することはできません。

【通過の定義】

《シングルポールスラローム：ICR804. 3》

アウトサイドポールがない場合は、スラロームの通常のレースラインに沿って、ターニングポールからターニングポールまでの架空の線を越え、両足とスキーの先端がターニングポールの同じ側を通過しなければならない。もし 競技者が、ポールをまたぐなどの失敗をしていないにもかかわらず、片方のスキーを失った場合、残ったスキーの先端と両足が、両方の条件を満たさなければならない。外側のポールがある場合（最初と最後のゲート、ディレイドゲート、コンビネーション（ヘアピン、バーチカル））は、第 661. 4. 1 条が有効である。

《シングルポールジャイアントスラローム：ICR904. 3》

アウトサイドポールが存在しない場合、ターニングポール間の想像上のラインを横切る通常のジャイアントスラロームのレースラインを追うように、競技者の両足とスキーの両先端がターニングポールを同じ側で通過する。もし、競技者が、スキーが外れ、違反をしなかった場合（例：ポールをまたがない）、残りのスキーの先端と両足は、両方の必要事項を満たさなければならない。アウトサイドポールが存在する旗門（第一および最終旗門、ディレイゲート）には、ICR 661. 4. 1 条が適用される。

《全種目共通：ICR661. 4. 1》

競技者の両スキーの先端と両足が旗門線を横切ったとき、旗門を通過したことになる。例えば、スラロームポールをまたぐといった不通過となる行為をせずに、競技者

の片方のスキーが外れてしまった場合は、もう片方のスキーの先端と両足が旗門線を通過しなければならない。

3 ICR623.2 改正 再レースの対象となる妨害の根拠について

<p>Grounds for Interference 623.2 Grounds for Interference 623.2.1 Blocking of the course racing line by an official, a spectator, an animal or other obstruction. 623.2.2 Blocking of the course racing line by a fallen competitor who does not clear the course quickly enough. <u>623.2.3 Blocking of the racing line by a broken or detached pole caused by the competitor (Level 1, 2, 3, 4).</u></p>	<p>妨害の根拠 623.2 妨害の根拠 623.2.1 競技役員、観客、動物、その他の障害物によって <u>コースレーシングライン</u> が塞がれること。 623.2.2 転倒した競技者がコースから速やかに退出せず、<u>コースレーシングライン</u> が塞がれること。 <u>623.2.3 競技者自身の手によって破損または外れたポールによってレーシングラインが塞がれること（レベル1、2、3、4）。</u></p>
---	---

再レースの対象となる妨害の根拠に、レースレベル1、2、3、4において、競技者自身の手によって破損または外れたポールによってレーシングラインが塞がれた場合が追加となりました。

4 その他

- ・ ICR611.2.1 電子計時の改正、ICR612.4 計時主任の改正
 - ・ ICR621.12 3本制レースの2本目と3本目のスタート順の追加
 - ・ ICR803.2.2 3本制スラロームの追加
 - ・ 他、文言の明確化により ICR602.4.2、613.4、615.1.5 を改正
- ※これらの改正内容は、翻訳後、12月上旬にSAJホームページで周知します。